

第2回検討会での論点整理

第1回検討会での議論も踏まえ、使用済紙おむつの再生利用等に関するガイドラインの改定にあたって、特にご確認いただきたい論点及び更に検討すべき論点として、以下の点をご議論いただきたい。

1. 現時点では裾野を広げるために幅広い自治体への再生利用等の導入の検討促進を行うべきか。または、使用済紙おむつの再生利用等に取り組むことが、地域で抱えている課題の解決に有効と考えられる自治体を類型化し、優先的に取組を促すべきか。類型化をする場合、優先的に取り組むべき自治体の要件はどのように考えるべきか。
(例：高齢化率、事業所からの排出量、老朽化など焼却施設の状況、最終処分場のひっ迫度、広域連携の可能性等)
2. 住民や排出事業者の理解促進には、リサイクルすることの必要性・メリットの理解がポイントとなるが、自治体は住民や排出事業者へどのようなアプローチが考えられるか。
3. 令和元年度のガイドライン策定から5年間経過したが、社会情勢の変化、廃棄物の組成変化や技術進展などの社会状況の変化を踏まえて、追加的に記載すべき内容又は記載に当たって考慮すべき点があるか。
4. 更新内容に対してご意見はないか。